

認定事業適応計画の概要の公表

1. 認定の日付

令和4年12月15日

2. 認定事業適応事業者の名称

キリンホールディングス株式会社

3. 認定事業適応計画の内容

(1) 事業適応に係る事業の目標

キリングroupは、「キリングroup環境ビジョン 2050」において自然資本にポジティブインパクトを与えることを掲げており、気候変動への取組の長期目標として2050年までにバリューチェーン全体のGHG排出量をネットゼロにすることを目標としている。

目標達成に向け、省エネルギー、再生可能エネルギー利用拡大、エネルギー転換（技術探索・開発・実証）を進め、2030年度までにGHG排出量をScope1+Scope2で50%削減することを目指す。

これらの目標を着実に達成していくことにより、自然資本に依存したビジネスの持続可能性の向上、調達コストの低減、カーボンプライシング導入によるコスト増への対応、消費者ビジネスの根幹であるブランド力の向上を図る。

(2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2026年度（事業適応計画の開始から5年目）に基準年度である2021年度に対して、キリンホールディングス（単体）（連結）で修正ROAを2%以上向上させることを目標とする。（連結は参考値）

(3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2026年度にキリンホールディングス（連結）の経常収支を正とすることを目標とする。

(4) 事業適応の種類

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

(5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

飲料・タバコ・飼料製造業（10）

（選定理由）

全社的にGHG排出量を削減する計画であり、キリングroupにおいて売上比率の最も大き

い酒類事業に係る分類を選定。

(6) 事業適応の具体的内容

Scope1+2 の GHG 削減目標を達成するため、①省エネルギー②再生可能エネルギーの拡大③エネルギー転換の 3 つのカテゴリーにおいて施策を実行。

①省エネルギーについてはヒートポンプの導入、製造プロセス見直を実行する。②再生可能エネルギーについては自社敷地内の再エネ設備の導入、外部からの再生エネルギー調達を実行する。③エネルギー転換については、水素などへの転換を見据えた技術探索・開発・実証を実行する。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期：2022 年 12 月

終了時期：2032 年 12 月

(8) 認証を受けた外部評価機関

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社